

三方よし

高P 連会長 前川久幸 (石山高校 副会長)

日頃は本会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
この度、滋賀県公立高等学校PTA連合会の会長を拝命いたしました。
どうぞ宜しくお願い致します。

さて、世界を席卷し社会に大きなダメージを与えた新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の終了がWHOから発表されました(5月5日)。2020年1月末から3年3カ月間のコロナ禍、多くの活動が制限されましたが、学校や職場などにおいて一緒に学び交流することの大切さを実感する機会ともなりました。

そのような中、社会環境は大きく変化しています。
成人年齢が18歳に引き下げられた中で、高校生が自分の権利や責任を自覚できるか。
ChatGPTなどの生成人工知能(AI)の技術革新が進む中で、自分自身で考える力や表現する力、判断力を身につけられるか。
こども家庭庁が4月に発足し、こどもまんなか社会の実現に向けて動き出しました。
今後は、子どもの声を聴ける社会、社会全体として子どもの教育・成長を支えることが重要になります。

高P連会長として、三方よし(近江の心:近江商人が遺した理念)を活動のテーマに、子どもたちの声を聴くことを大切に取り組んで参りたいと考えています。子どもたちは、自分たちの学びや生活について、様々な思いや希望を持っています。
私たちは、それらを尊重し、理解し、応援することができるでしょうか。そのためには、学校の先生方と積極的に話し合うことが大切だと思っております。

子どもたちの高校生活がより充実したものになるよう、副会長をはじめとする役員の皆様、そして事務局の力をお借りしながら、各高等学校PTA及び会員の皆様と共に活動を進めて参ります。そして、滋賀の教育大綱の基本目標「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」の一助になれますと幸いです。

最後になりますが、これまで滋賀県高等学校PTA連合会を牽引されてきた皆様に敬意を表するとともに、これからもPTA会員の皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

